

東京都立浅草高等学校 令和7年度 年間授業計画

教科： 地理歴史科 科目： 日本史 A
対象学年： 第4学年

使用教科書と教材は別紙を参照

単位数 2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	1. オリエンテーション 2. 近代国家の形成と国際関係の推移 ①明治維新 ②近代国家の確立 ③対外関係の変化 ④政党政治の展開	・日本史の時代区分を整理し、日本史の大きな流れを理解する。 ①開国後、尊王攘夷運動・討幕運動の展開により江戸幕府は滅亡し、明治新政府が成立したことを理解する。 ②明治政府によって近代化のための諸政策が実施されたことを踏まえ、大日本帝国憲法が制定され、日本が立憲国家になったことを考察する。 ③日本は条約改正を実現し、日清・日露戦争を経て、アジア侵略をはじめたことを理解する。 ④民衆政治が政治を動かし始め、政党内閣が展開したことを理解する。	定期考査、出席状況、平常時の取り組み、課題の提出状況などを総合的に評価し、評価を行う。	2
5月				8
6月				4
7月				6
8月				0
9月				6
10月	3. 両大戦をめぐる国際情勢 ①近代産業の発展 ②国民生活の変化 ③第一次世界大戦 ④第二次世界大戦 4. 現代の日本と世界 ①日本の再出発 ②独立後の政治と対外関係	①日本の産業革命によって生じたひずみを改善するため、社会運動が広がりをみせたことを理解する。 ②明治・大正時代の移り変わりとともに国民の生活が大きく変化したことに気付く。また大正デモクラシーが広がったことも理解する。 ③第一次大戦をきっかけに日本は高い地位を得たが、アジアに対しては強硬に振る舞い、欧米とは強調外交を続けたことを理解する。 ④軍部が暴走し中国侵略が続くなかで、アメリカとの戦争をはじめ、国内外で多くの犠牲者を出して日本は敗北したことを理解する。 ①日本国憲法の制定により、日本は新しい国に生まれ変わったことに気付く。また冷戦中に朝鮮戦争が始まり、そのさなかサンフランシスコ平和条約で日本は主権を回復したことを理解する。 ②軍事面でアメリカに依存しつつ、高度経済成長を遂げて経済大国となったが、冷戦の終結や、経済の国際化の中で、現在まで続く政治と経済の混迷の時代がはじまったことを理解する。		4
11月				6
12月				4
1月				8
2月				2
3月				0